



阿部社長(左端)から太陽光利用のシステムについて説明を受ける党県議団

“エコ住宅”の普及へ 民間のモデルハウスを視察

知団
愛議
党県

公明党愛知県議団 進的な「エコ住宅」とモデル普及推進事業」(渡会克明団長)は2010年7月27日、環境に配慮した先009年度「地域住宅

山区の「大森エコタウン」モデルハウス」を視察した。

同ハウスは阿部建設株式会社(阿部一雄社長)が建てたもので、エアコンや照明などに使用するエネルギー量と、太陽光などを利用して作り出すエネルギー量を同じにする「ゼロエネルギー化」が大きな特徴。党県議団は、こうした設備について阿部社長から説明を受けるとともに、モデルハウス内を見て回った。

同社長は「国内で初めて提案した住宅」とる井戸も完備している。同社長は「ガスや電気が止まってしまっは、県が発行するグリーン電力証書(二酸化炭素削減分を取引する証書)を活用することで、相殺できるようにする」という。

同ハウスのもう一つの特徴は防災に配慮した点。地震の際、建物の揺れを軽減する制震部材を利用しているほか、視察後、渡会団長は「人と環境に優しいエコ住宅は、今後普及していくことが望ましい。県産品の消費拡大などの対策も考えながら、党県議団として取り組んでいきたい」と語った。